



一橋大学



Global
COE
Hi-Stat

最低賃金と賃金格差

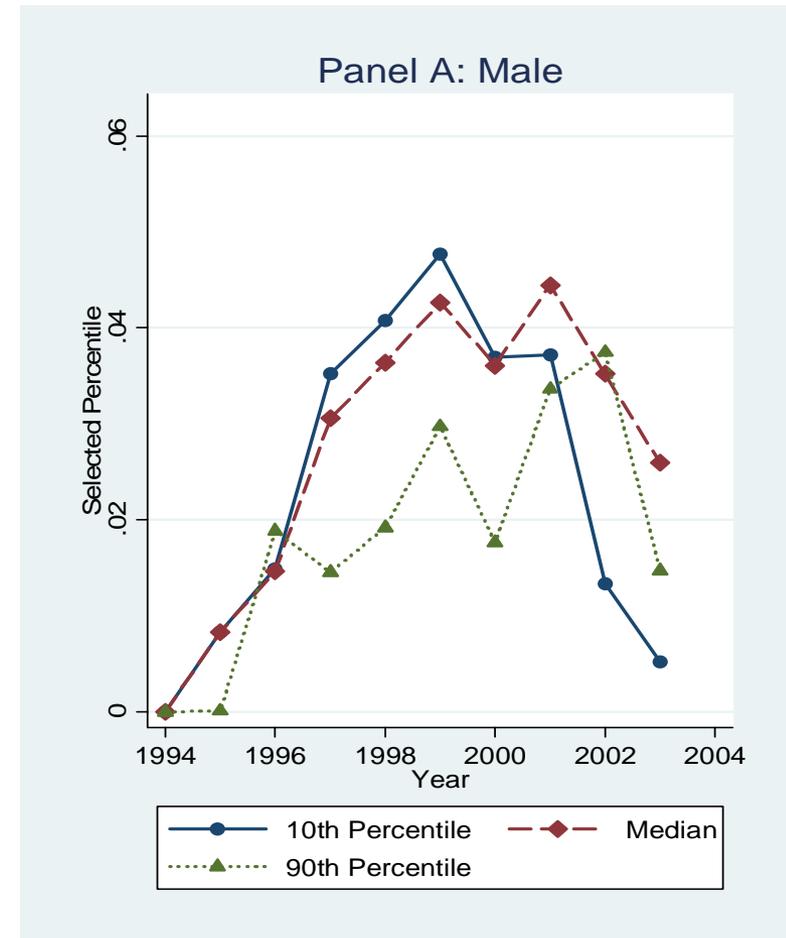
一橋大学経済研究所
神林龍

公開討論会：兼松講堂
2009年12月2日

1994～2003年の賃金格差の動向 ①

- 男性
 - 「10%点」と「中位点」が並行に移動
 - 賃金格差の安定的推移

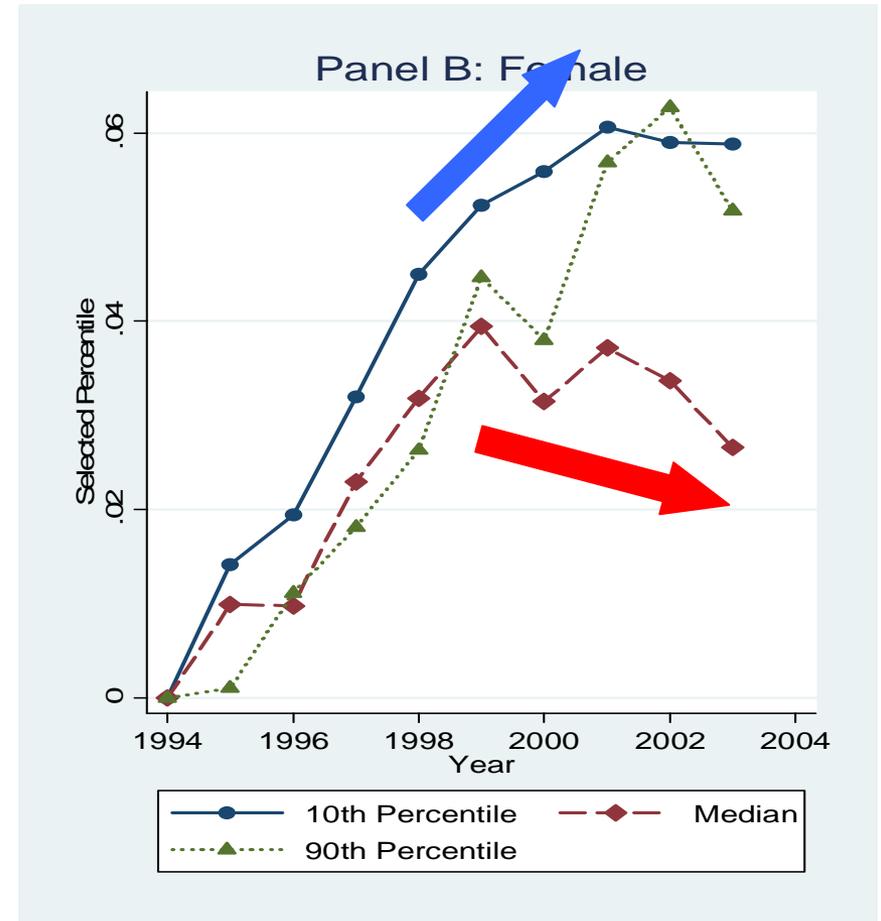
「賃金」＝時間当たり賃金率。
世帯所得ではない点に注意。



1993～2004年の賃金格差の動向 ②

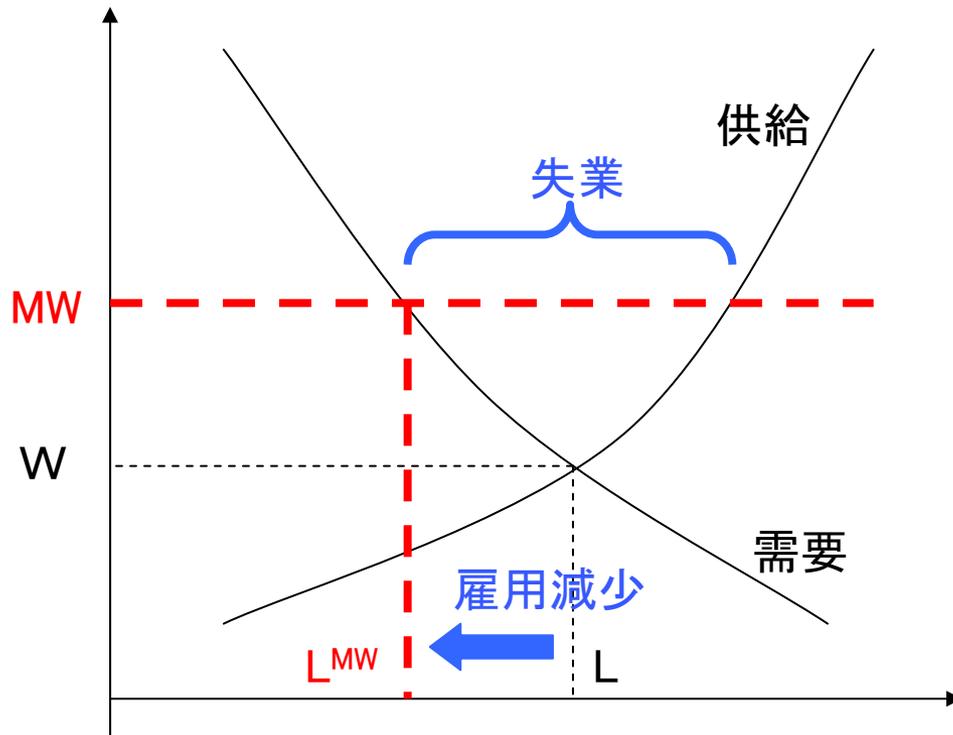
- 女性
 - 「中位値の下降」と「10%点の上昇」
 - = (賃金分布の下の裾での) 格差の縮小

- 最低賃金の影響？



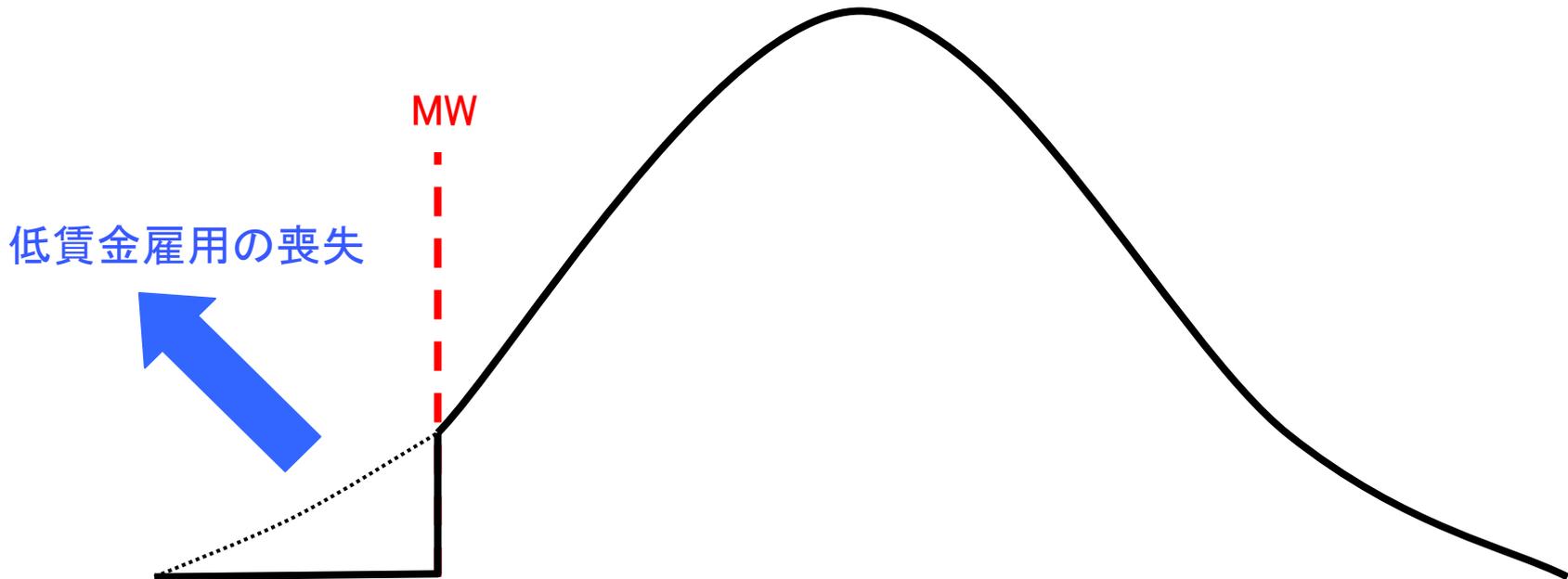
最低賃金と賃金分布 ①

- 最低賃金の効果を最も単純に理解すると...

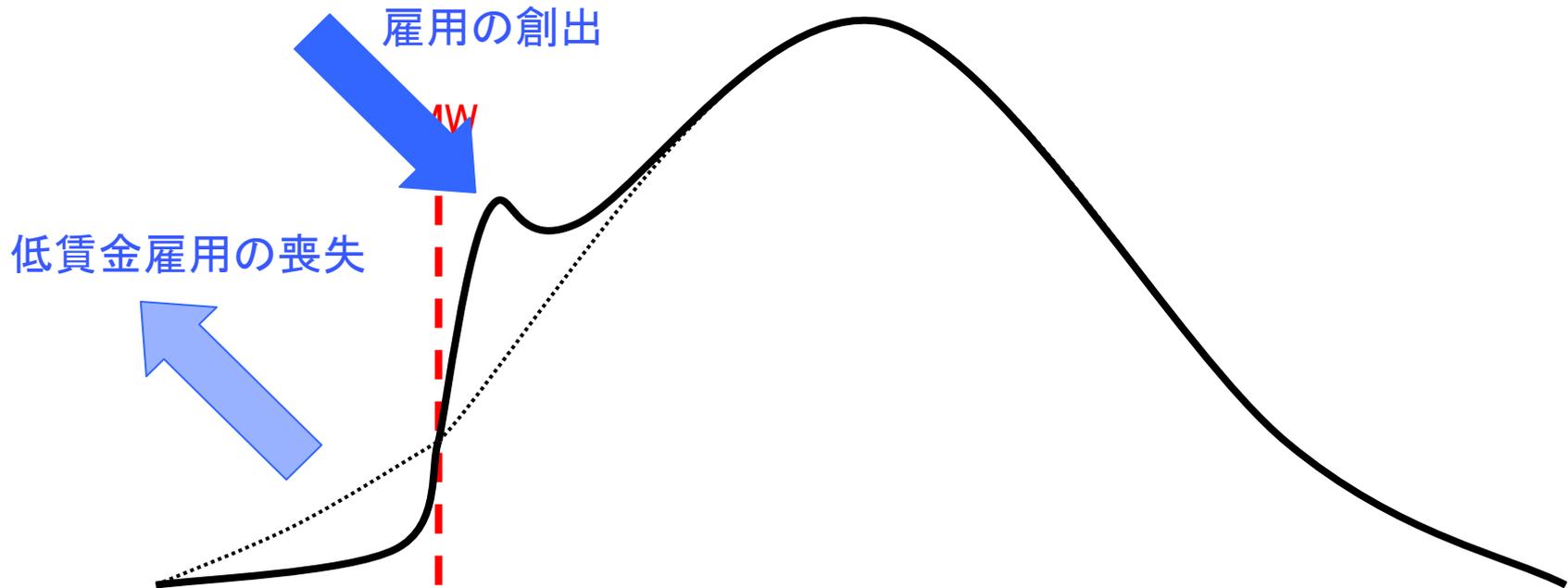


最低賃金と賃金分布 ②

- 賃金分布上では・・・



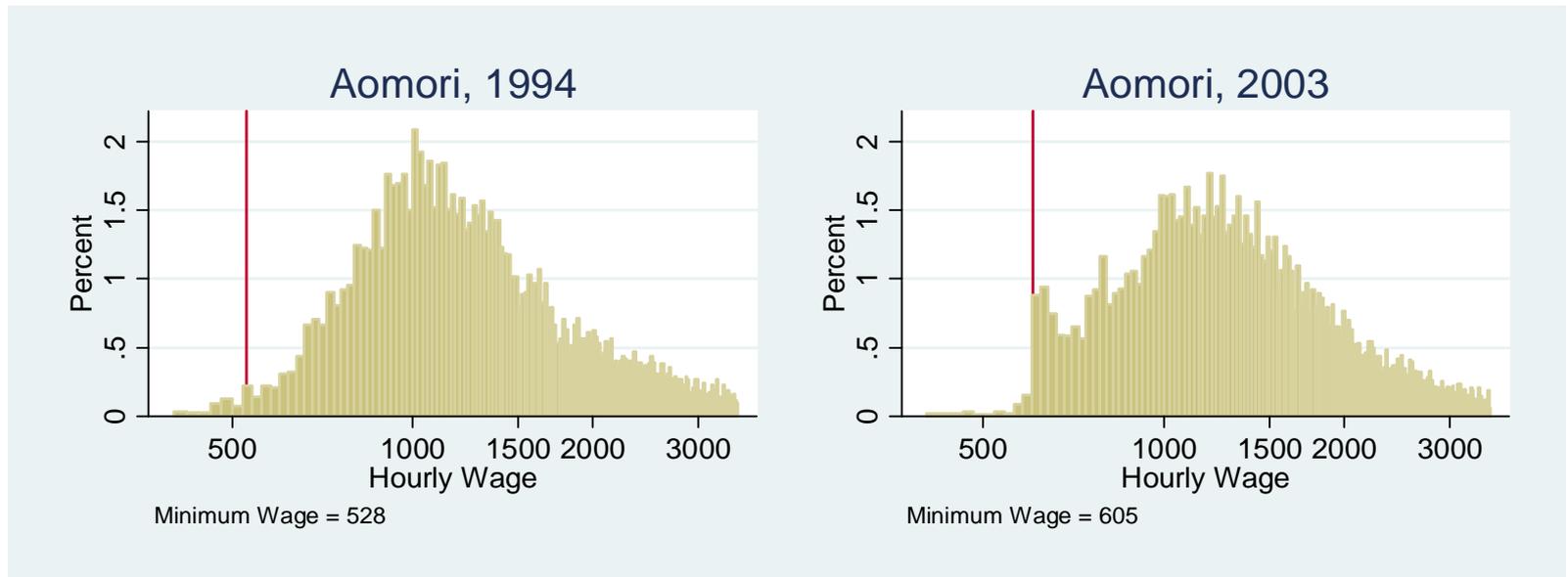
実際の賃金分布へ与える影響①



何故？

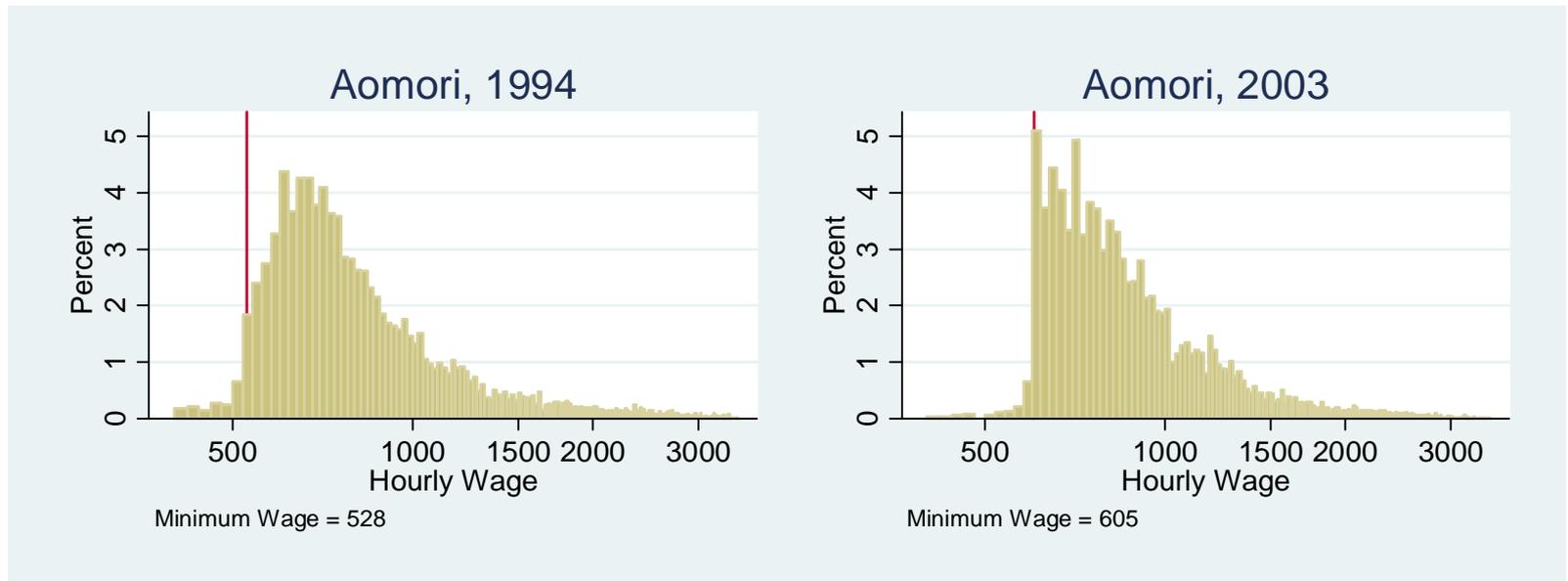
- スピルオーバー効果（積み上げ効果）
 - 最低賃金で雇われていた人がいなくなると、その人が担当していた**仕事**はどうなる？
 - （可能性1） なくなる
 - （可能性2） 他の人が（追加的に）担当する
 - 他の人の仕事が増える。

実際の賃金分布へ与える影響②



青森県の**男性**労働者の時給換算値の分布と最低賃金の変化

実際の賃金分布へ与える影響②



青森県の女性労働者の時給換算値の分布と最低賃金の変化

最低賃金が賃金格差に与える影響

結論①

- Kambayashi, Kawaguchi, and Yamada (2009)
 - スピルオーバー効果か、単純な積み上げ効果かははっきりしないものの、女性低賃金層の「底上げ」の効果はもっている。

最低賃金が賃金格差に与える影響 結論②

- したがって、賃金格差に関しては、最低賃金の上昇は格差を縮小させる方向に働いている。
 - たとえば、正社員・パートタイマーの賃金格差は、最低賃金が増えなかったとしたら、今以上に拡大していただろう。
 - ただし、賃金格差を考えるときには、「働いていない人の賃金」は考慮に入っていない点には注意。